



清 泉

令和 7 年 5 月 2 6 日
昭島市立清泉中学校
校長 佐藤 晴美

昭島市立清泉中学校 〒196-0024 昭島市宮沢町1-9-1
電話042-541-0762 FAX042-541-6869 <http://www.city.akishima.ed.jp/~seisen/>

「うつくしい」ものへのあこがれ ～国語の教科書に次のような詩が載っています～

うつくしいものの話をしよう。
いつからだろう。ふと気がつくと、
うつくしいということばを、ためらわず
口にするのを、誰もしなくなった。

—以降省略—

『世界はうつくしいと』長田弘 から

うつくしきもの。瓜にかきたるちごの顔。
雀の子の、鼠鳴きするに踊り来る。
二つ三つばかりなるちごの、急ぎ手這い来る道に、
いと小さき塵のありけるを目ざとく見つけて、
いとをかしげなる指にとらへて、
大人ごとに見せたる、いとうつくし。

—以下省略—
『枕草子』清少納言 から

「うつくし」とは、親子、夫婦などがお互いをいとおしく思う、**情愛を表す言葉**だった。平安時代になりそれは小さく可憐なものへの愛に変わり、「愛らしい」という意味になった。時を経て現代では、「きれい」という意味を指す言葉となった。

さて、長田弘さんは「うつくしい」という言葉がいつしか使われなくなり、そして私たちの会話が乏しくなったと言っている。この作品を扱った3年生の授業で、その授業者がこう言っていた。『「きれい」という言葉はみなさんもよく使いますよね。でも『うつくしい』という言葉はどうですか?』『「きれい」と『うつくしい』は何が違うのでしょうか?』。

先日(5月19日)の読売新聞朝刊で北口榛花選手の写真が私の目に留まった。陸上・セイコーゴールデングランプリで、まさに今、槍(やり)を投げようとする一瞬を捉えた写真。私の北口選手のイメージは、喜びに飛び跳ねる姿、満面の笑顔や楽しい会話など、テレビで報道されている姿だが、しかしこの写真は違った。目を見開き、槍が飛んでいくだろう先、その一点を睨むかのようなすごい形相。「あっ!」そうなんだ、人は何かにかけると、自分と真剣に向き合うとき、この表情となるんだ。**なんとうつくしい。**

ある文書に「うつくしい」は心を打つような内面的な美しさや芸術的な美しさを指し、「きれい」は清潔や整然さといった表面的な具体的な美しさと記されていました。また、芸術家の岡本太郎さんは次のように本に書かれている。

「美しい」ということと「きれい」というのはまったく違うものであることだけをお話しておきたい。とにかく美しいというのは、ていさいのいい、気持ちのいい、俗にいうシャレてるとかカッコヨイ、そういうものだと思っている人が多い。しかし美しいというのはもっと無条件で、絶対的なものである。見て楽しいとか、体裁がいいというようなことはむしろ全然無視して、ひたすら生命がひらき高揚したときに、美しいという感動がおこるのだ。

『自分分の中に毒を持て』岡本太郎 から

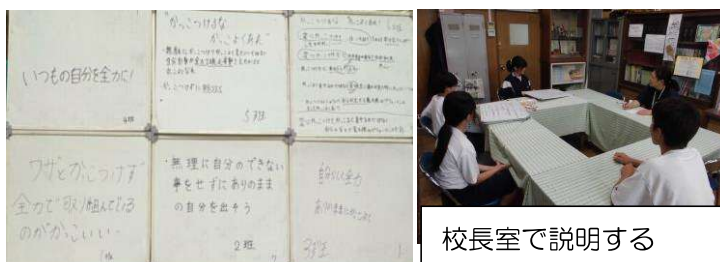
5月の朝礼で課題を各クラス(担任含む)に出しました

課題: 5月の朝礼で私が勝手に作ったスローガン「格好つけるな、格好よくあれ」の意味をクラスで考えて、5月27日までにその考えを伝えにきてください

《全校で1番に伝えに来てくれた1年6組》 クラスの各班で自分の考えをみんな伝え合い、そしてクラスとしての意見をまとめたそうです。担任の先生も一緒に考え、アドバイスなどもしてくれたそうです。

無駄にかっこつけて
かっこよく見せるのではなく
自分自身が全力で挑む姿勢を見せることで
かっこよくなれ
かっこつけずに、自分らしく 1-6

☆他のクラスの考えも楽しみにしています!



1-6の各班の考え

校長室で説明する
学級委員と体育委員